

5組クラス会 17名！で盛大に開催

千曲川に近年サケが遡上するらしい。らしいというのはこの目で見たことがないからだ、親元を放たれ大海をさ迷い、めでたく上田に遡上できた何となんと17名の5組のクラスメートが先ごろ一堂に会したので、関東同期会の名ばかり幹事の森が現地の様子をレポートする。

17名の帰還率は5組43名中(物故者2名)の40%に当たるから相当すごい。これは呼びかけ人の手塚正、本田光芳、中沢忠繁、宮沢芳美(同学のよしみで敬称を略)の人品によるところ大であって感謝したい。

クラス会は11月17日(土)に「ささや」で開催され、早世した井出正邦、龍野隆の両君に黙禱を捧げて始まった。名司会の本田光芳から欠席者の近況の報告があつて、担任の大槻文仁先生(数学86歳)は参加できないがよろしくとのことであり、矢沢博先生(「なんだこの点数！勉強しろ！」の数学のシャモ)はお亡くなりになられた？ようであり、宴たけなわとなって17名の面々の近況スピーチに聞き入った。

はるばるインドから駆けつけたのは田中裕子で、日本人はあまり居ないらしいインドの北部地方にお住まいで、遊びに来てくださいとのことだがあまりに広いぞインドは。酒どころ新潟県新発田から駆けつけた大田修一は、さすがに鍛え方が違う。ドクター折井正博は、「下肢静脈瘤とその治療のすべて」(東洋書店)を今年出版し、新しい治療法を紹介しているのでお薦めしたい。

45年を経た風貌に誰だっけ？と首を傾げる神経迷路から抜け出し、ゲタと学帽で闊歩した紅顔の高校生が復元された頃には、校歌斉唱でお開きとあいなり、次回は別所温泉で開催しよう、5組でゴルフをやろうと弾けました。本降りだった雨も止み、袋町で日本語上手の若いオネーさんのヨイショ！の歓待を受けた後の記憶はブラックアウト…。

クラス会出席の17名は以下のとおり： 荒井忠男、伊藤高志、大田修一、折井正博、児玉(小山)ひろ子、小宮山直道、高遠修、田中裕子、土屋豊、手塚正、戸叶秀晴、富田篤、中沢忠繁、本田光芳、宮沢芳美、宮下勇一、森則雄

(11月21日幹事 森則雄 記)

集合写真は次ページ



前列左から大田、小宮山、森、本田、児玉(小山)、田中、手塚
後列左から宮沢、高遠、富田、宮下、伊藤、荒井、中澤、戸叶、土屋、折井